

＝ ニュースレター（2016年10月号） ＝

エンジニアリング、メンテナンス、マニュファクチャリング



9月1日付けでエンジニアリング事業本部滋賀事業所保全2部長に就任しました 阿部 浩司（あべ こうじ）です。

私は、1974年に東レ(株)に入社し、名古屋工場でナイロン重合に携わった後、東レグループ国内外5か所の工場勤務にてフィルム生産設備での装置開発、生産・試験設備のエンジニアリング、保全を経験してきました。

滋賀事業所保全2部は、東レ(株)滋賀事業場内のインフラ設備（発電・受配電設備、蒸気・圧空・用水供給設備等）と付属設備（照明、空調、LAN、自火報等）、各開発部署・研究所及び近隣の東レグループ各会社での生産・試験設備の改善・保全業務を担っております。また、主に滋賀・京都等周辺地域の東レグループ以外のお客様での設備改造（レトロフィット）工事、保全業務の受託にも取り組んでおり、一つひとつの仕事を誠実に遂行する中でお客様からの信頼を得て、定期的な整備作業、改造工事も繰り返し発注いただくようになりました。

これまで東レグループにおいて、設備稼働安定化、省エネルギーやコスト削減活動そしてゼロ災害活動を継続していく中で積み上げてきたノウハウを活かし、これからもお客様のご要求仕様に応じた最適な提案をさせていただき、更に高い信頼をいただけるよう努力して参る所存です。今後とも引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

“トピックス”

2016年9月6日 多目的フロア『カフェラウンジ集（つどい）』オープニングセレモニー



「カフェラウンジ“集”」は社員の要望により、本社2階に設置され、創立43周年の9月6日にオープンしました。オープンしたラウンジにはドリンクやスナックが用意され、他の拠点とチャットができる大型テレビやマガジンラックも置かれています。ラウンジは元々は“ひとびとがリラックスして集まる場“また”社交場“との意味があります。このラウンジに皆が集い、コミュニケーション促進とリラックスの場として活用を図ります。また明るい色調の壁や床の空間の中にて自由に論談して、新たな関西ティーイーケイ創造の場にもなることも期待されます。

2016年9月1日 大津市のシェイクアウト訓練に参加



シェイクアウト訓練とは、指定した日時にそれぞれの場所で地震から身を守るための3つの安全行動「まず低く、頭を守り、動かない」を約1分間行うシンプルな訓練です。

当社でも大津市が9月1日防災の日を実施したシェイクアウト訓練に昨年引き続き参加しました。訓練当日、10時にサイレンが鳴り、机の下に入るなどそれぞれの場所で3つの安全行動を行い、突然の揺れに備えて身を守る行動をしました。一人ひとりが防災に関する正しい知識を身につけ、自ら「日常においていかに備え、災害時に何をすべきか」について考える良い機会となりました。

まめ豆知識『～自動火災報知機～』



自動火災報知機には法定点検の義務があります。専門業者に点検してもらい、維持管理していくことが重要になりますが、専門業者が常駐しているわけではないので、誰でも出来る簡単な点検を3つ紹介します。

- ◆交流電源灯が常時点灯しているか（※）
- ◆「地区音響完全停止中」が消灯しているか
- ◆移報停止が消灯しているか

みなさんも今一度チェックしてみてください。

※2011年の新宿歌舞伎町での火災では、自動火災報知機が頻繁に誤作動することを理由に電源を切断していたため、火災に気づくのが遅れ、多数の死者が出ました。